

令和元年度 事業報告

公益法人移行後、7年が経過し、公益目的事業の積極的な推進、効率的な法人運営等に努め、効果的でより充実した事業の展開並びに組織運営に全力で取り組んだ。

事業活動

公1 食鳥肉に起因する衛生上の危害の発生を防止するため、食鳥処理場において食鳥検査、細菌検査及び検査員に対する研修会等を行うことにより、流通する食鳥肉の安全を確保する事業

(1) 食鳥検査事業

岡崎市に食鳥検査センターを設置するとともに、県内6か所の食鳥処理場に対して、会員である獣医師の検査員を配置して食鳥検査を行っている。

<元年度 実績>

(ア) 検査員の配置実績 (6 処理場合計) 常勤 12人 非常勤 8人

(イ) 食鳥検査羽数の実績 14,722,375羽

(ウ) 検査結果 (処分の状況 6 処理場合計)

とさつ又は解体の禁止	全部廃棄	一部廃棄	合計
104,709 (0.71%)	89,694 (0.61%)	104,929 (0.71%)	299,332 (2.03%)

(2) 食鳥肉等の細菌検査事業

食鳥肉の衛生水準の向上を図るとともに、検査センターの人材と検査機材の有効活用を図るため、委託元である県、市に提言し、委託元の理解を得て行っている事業で、処理された食鳥肉及び機械器具等の検査を計画的に反復実施し、その結果を基に独自事業として食鳥処理場における衛生管理の改善に向けて助言、指導している。

<元年度 実績>

(ア) 食鳥検査センター検査室における検査実績

検査項目：生菌数、大腸菌群数、黄色ブドウ球菌数、サルモネラ属菌及びカンピロバクターの5項目
(各処理場で処理された鶏肉を対象に原則 11回/年)

検査件数：126 延べ検査項目数：630

(イ) 各処理場内検査室における検査実績

検査項目：大腸菌群、サルモネラ属菌、黄色ブドウ球菌の3項目

検査件数：360 延べ検査項目数：1,080

(3) 検査員研修会

定期的に検査員連絡会議や研修会を開催し、検査技術の平準化や向上を図るとともに、厚生労働省の開催する食鳥肉衛生技術研修会等に参加させ、伝達講習を行い技術の研鑽に努めている。

なお、食鳥検査業務に有用な研修についてセンターの予算の範囲で参加させている。

<元年度 実績>

年月日	講演内容	講師
H31.4.14	平成30年度食鳥肉衛生技術研修会及び衛生発表会 伝達講習	神谷 央 検査員、西田 秀明 検査員
R1.9.19	家きん疾病に関する最近の知見等について	愛知県中央家畜保健衛生所 豊田加茂支所 小島 朋子 主任他
R1.11.17	HACCP 制度化に向けた指定検査機関検査員の役割	愛知県、豊橋市、岡崎市 担当職員

公2 獣医学術、獣医療の専門知識・技能の普及並びに人材育成を図る事業

(1) 学術事業

獣医療の各分野にわたって、学会・講習会・研修会等を開催（行政または関係団体との共催を含む。）し、獣医師の専門知識・技能の普及並びに資質の向上を図る事業。

<元年度 実績>

*臨床部会第1回小動物学術セミナー

日 時：令和元年6月2日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階1202号室

演 題：「胸部・胸郭に関連する外科症例の診断と治療」

講 師：高木 哲 先生（麻布大学 准教授）

参加人数：会員38名、非会員17名 合計55名

*臨床部会第2回小動物セミナー

日 時：令和元年10月13日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階1202号室

演 題：「犬猫の代表的内分泌疾患を復習&アップデート～副腎と甲状腺疾患を極める～」

講 師：佐藤 雅彦 先生（東京大学附属動物医療センター 特任准教授）

参加人数：会員49名、非会員14名 合計63名

*第1回 公衆衛生部会学術セミナー

日 時：令和元年11月23日

会 場：アイリス愛知 コスモス2階

演 題：犬猫のしつけと飼養管理

講 師：水越 美奈 先生（日本獣医生命科学大学獣医学部 准教授）

参加人数：会員39名、非会員12名 合計51名

*第2回 公衆衛生部会セミナー

日 時：令和2年2月3日

会 場：愛知県三の丸庁舎 大会議室

演 題：CSF（豚コレラ）とASF（アフリカ豚コレラ）の症状と肉眼所見

講 師：山田 学 先生（国立研究開発法人農業・食品産業技術総合研究機構 上席研究員）

参加人数：会員33名、非会員40名 合計73名

*令和元年度 第58回学術研究発表会及び特別講演

【学術研究発表会】

日 時：令和2年3月8日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 10階1006号室及び1007号室

発表演題数：18題（産業動物：5題、小動物：9題、公衆衛生：4題）

※新型コロナウイルス拡大防止のため、開催中止。

(2) 学会発表推進事業

（公社）日本獣医師会等が開催する学会で研修発表を行う獣医師に対し、参加登録料・旅費の助成と共同研究者等に参加登録料の助成を行い、愛知県内において獣医療の先端を担う人材育成を図る事業。

<元年度 実績>

*獣医学術中部地区学会発表者 4名

公3 狂犬病を始めとする人と動物の共通感染症を予防するために、狂犬病の予防注射推進及び人と動物の共通感染症について正しい知識の普及啓発を行う事業

(1) 狂犬病予防注射推進事業

名古屋市を除く県下の全市町村長に呼びかけ、狂犬病予防推進事業として狂犬病予防注射済票交付手数料及び犬の鑑札交付手数料の徴収事務並びに交付事務を受託し、会員病院において狂犬病予防注射に付帯する注射済票及び鑑札の交付を代行することで、飼い主の負担軽減及び予防接種機会の拡大により、予防注射接種率の向上を図る。また、毎年4月から6月を狂犬病予防注射月間として活動しておりTV広報及びポスターを本会会員の施設に掲示している。

<元年度 実績>

(注射済票・鑑札交付事業)

注射済票交付枚数：91,650枚 鑑札交付枚数：6,274枚

(広告宣伝事業)

TVスポットの実績：3月25日～4月20日に(株)電通中部支社を通してメーテレにて延べ26回実施した。

(2) 共通感染症講演会開催事業

人と動物の共通感染症についての講演会を開催し、人と動物の共通感染症に対する正しい知識の普及啓発、特に狂犬病についての危険性の周知を行うことにより狂犬病予防を推進する。

<元年度 実績>

日 時：令和2年2月24日

会 場：名古屋市獣医師会館 大会議室

演 題：人獣共通感染症と薬剤耐性菌

講 師：村田 佳輝 先生（公益社団法人千葉県獣医師会副会長、むらた動物病院院長）

参加人数：会員33名、非会員38名 合計71名

(3) 身体障害者補助犬予防注射助成事業

身体障害者補助犬（盲導犬・聴導犬・介助犬等）利用者に対し、狂犬病予防注射料金を本会で負担し支援。

<元年度 実績>

*助成実施頭数 8頭

公4 学校飼育動物に関する保健衛生の向上並びに動物愛護思想、動物福祉の増進及び野生動物保護等の普及啓発を行う事業

(1) 動物愛護事業（県民公開講座）

家庭飼育動物の犬、猫、鳥等の習性、適正な飼育管理、愛護・保護精神の高揚、犬のしつけ等について公開講座を開催し、広く県民に普及啓発する。

<元年度 実績>

*動物愛護・共生委員会（県民公開講座）

日 時：令和2年1月19日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 11階1102号室

演 題：ペットと人のハッピーライフ出会いからエンディングまで～当たり前の日常が宝物～

講 師：阿部 美奈子 先生（Always 代表）

参加人数：会員16名、一般36名、合計52名

(2) 動物愛護事業（動物慰霊祭）

動物園で死亡した動物、戦時中に死亡・殺処分された動物及び動物保護管理センターで殺処分された犬猫を慰霊することにより広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<元年度 実績>

*9月20日 動物保護管理センター慰霊祭

*9月23日 東山動物園慰霊祭

*11月7日 本会慰霊祭

(3) 動物愛護事業 (動物愛護図画コンクールの表彰)

県内の児童に動物愛護に関する図画を募集し、動物に関する図画の作成を通じて動物愛護への関心を高め、動物愛護精神の普及啓発を図る。

<元年度 実績>

*日本獣医師会長賞 1作品、愛知県獣医師会長賞 1作品

(4) 動物愛護事業 (長寿犬表彰)

長寿犬の表彰をすることにより、適正な飼養管理・終生飼養に対する意識を高め、広く県民に動物愛護の精神を普及啓発する。

<元年度 実績>

長寿犬表彰頭数 13頭

(5) 動物愛護事業 (講演会)

未開催。

(6) 学校動物飼育支援事業 (ふれあい教室)

公立小、幼稚園等の飼育動物の衛生と健康を保持し、効果的に教育活動ができるように学校、児童、PTA等を対象にふれあい教室を開催する。

<元年度 実績>

*ふれあい教室 73校 (延べ 86回・参加獣医師数 延べ 243名)

*飼育相談対応 20校・31回

(7) 野生傷病鳥獣保護事業

野生鳥獣保護法に基づき、愛知県知事から受託し、県内に野生鳥獣保護指導獣医師を設置し、野外で負傷、疾病し発見された野生の鳥獣及び哺乳類の保護指導をすることにより、県民に鳥獣保護思想の普及啓発を図る。

<元年度 実績>

*実施登録獣医師数：90名

*保護指導数 (鳥類：39種・137羽、獣類：2種・3頭)

*関連セミナー

日 時：令和元年11月4日

会 場：愛知県産業労働センター ウィンクあいち 12階1201号室

演 題：初歩の鳥類の臨床Ⅱ～飼い鳥の外観、飼育方法、稟告に焦点を当てて～

講 師：辻岡 ひとみ 先生 (小鳥と小動物の病院 院長)

参加人数：会員31名、非会員36名 合計67名

他1 会員に対する相互扶助等事業

(1) 互助・福祉厚生事業

(ア) 機関誌「紫苑」を毎月10日に12回発行。

(イ) 同好会への助成実績

- ・10月14日開催 第6回つり大会への助成。
- ・11月 3日開催 第10回ゴルフコンペへの助成。
- ・ソフトボール同好会 傷害保険への助成。

(ウ) 獣医師総合生命福祉共済保険「狂犬病予防注射事業賠償保険」を契約。

- ・元年度の契約人数は、458名。

(エ) 顧問弁護士契約を継続。

(オ) 所得補償保険及びがん保険の団体契約の継続。

(2) 会員の表彰

- ・中部獣医師会連合会会長表彰に4名推薦。

(3) 会員の弔慰

- ・会員、配偶者、両親及びご子息の死亡に給付をした。
- ・病気見舞及び災害見舞の給付をした。

(4) 獣医療証明様式等頒布事業

- ・獣医師法、獣医療法、薬事法等で診療等の際に交付が義務付けられている証明書等の様式について、(公社)日本獣医師会が作成したものを、診療獣医師の注文に対し、本会獣医師会を通じて有償で頒布。

<2019年度 頒布実績>

証明書A：879冊・証明書B：46冊・動物医薬品指示書：164冊・出荷制限期間指示書：13冊
狂注済証：170冊・診断書：43冊

(5) 獣医師の倫理向上に関する事業

- *臨床部会「綱紀・獣医事委員会」を4回開催し、獣医療過誤申出について検討した。

(開催日：6/6・7/18・10/10・1/9)

- *臨床部会「新入会員研修会」を開催。

日時：令和2年2月2日

会場：公益社団法人愛知県獣医師会 会議室

演題：(1)獣医師会概要 (2)獣医療トラブルを回避するために

講師：綱紀・獣医事委員

参加人数：臨床部会新入会員：8名(開業会員：5名・勤務会員：3名)

(6) 獣医師の処遇改善に関する事業

- ・公務員獣医師の処遇改善等について

令和元年度事業報告附属明細書

(自：平成31年4月1日 至：令和2年3月31日)

公益社団法人 愛知県獣医師会

法人の状況に関する重要な事項（計算書類及びその附属明細書の内容となる事項を除く。）
該当事項はない。

管理部門

1. 会員の状況

区分	平成30年度末	令和元年度中の異動			令和元年度末
	会員数	入会者数	退会者数	増減	会員数
会員数	937	25	34	△9	928

(なお、賛助会員5団体は含まない。)

<会員数の内訳>

部会名	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会
部会別会員数	255名	461名	212名

2. 会費未納入状況

(1) 令和元年度 部会別会費未納者状況 (令和2年3月31日現在)

部会名	未納者数	金額
畜産部会	6名	130,000円
臨床部会	6名	332,000円
公衆衛生部会	5名	80,000円
合計	17名	542,000円

<内訳>

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合計	金額
75,000円	0名	4名	0名	4名	300,000円
50,000円	1名	0名	0名	1名	50,000円
16,000円	5名	2名	5名	12名	192,000円
6,000円	0名	0名	0名	0名	0円

(2) 平成30年度 部会別会費未納者状況 (平成31年3月31日現在)

部会名	未納者数	金額
畜産部会	2名	32,000円
臨床部会	5名	375,000円
公衆衛生部会	4名	64,000円
合計	11名	471,000円

<内訳>

(なお、臨床部会1名及び公衆衛生部会1名は、2年間会費未納)

会費金額	畜産部会	臨床部会	公衆衛生部会	合計	金額
75,000円	0名	5名	0名	5名	375,000円
50,000円	0名	0名	0名	0名	0円
16,000円	2名	0名	4名	6名	96,000円
6,000円	0名	0名	0名	0名	0円